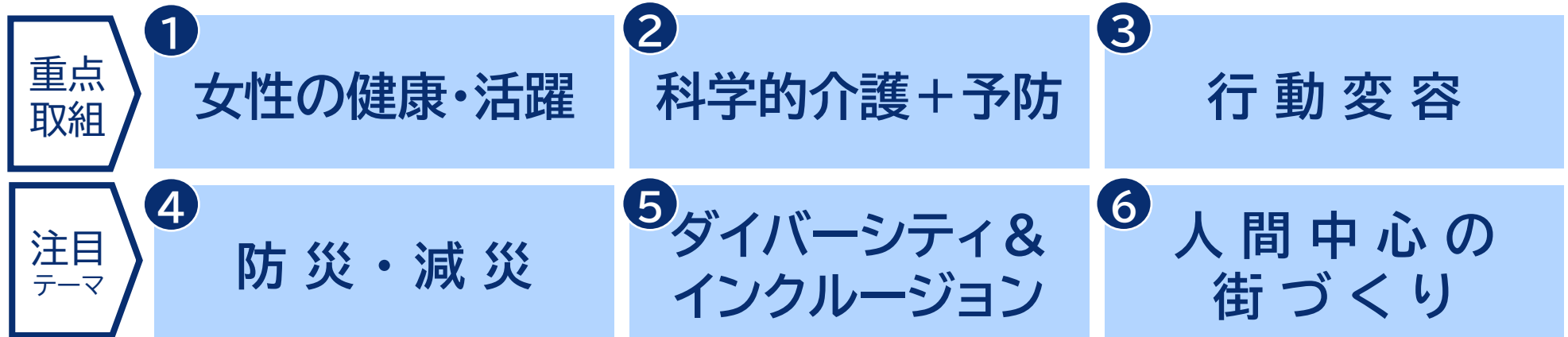


2021年度 重点テーマ紹介



ICF重点テーマ概要

ICF重点テーマ(期初ベース)



テーマ選定のキーワード

新常態(ニューノーマル) ⇒ 見極め、先取り

少子化/高齢化 ⇒ 課題先進国「日本」の挑戦

「個」起点 ⇒ 様々な「個」の受入と活躍、一人ひとりのQOL

地域フィールド ⇒ 地域問題を絡め、地域を巻き込み

行動変容 ⇒ 個人の行動、企業の行動を変える(制度・政策と両輪)

① 女性の健康・活躍

- 「女性の健康リスク」を低減し、よりWell-beingの高い社会の実現
- 女性の現役世代が抱える健康リスクの多さ、また増加の傾向が近年明らかに
- 企業の生産性への影響、将来の女性のQOL低下・健康寿命への影響可能性、女性のさらなる社会進出へのネガティブな影響あり
- 女性のさらなる活躍に向け、健康リスク減少、罹患しても働き続けやすい社会が求められている

近年増加中の現役世代女性の健康リスク

年代	男女共通の健康リスク			女性中心の健康リスク				
	がん	脳梗塞	生活習慣病	月経困難症 PMS※	産後うつ	更年期障害	子宮頸がん	乳がん
20代				○	○		○	
30代				○	○		○	
40代			○	○	○	○		○
50代			○			○		○
60代	○	○	○					

新たに生じる問題

企業の生産性への影響

女性のQOL低下・
健康寿命への悪影響懸念

女性のさらなる社会進出に
ネガティブな影響

- 社会インパクトとしての大きさ

- 女性の健康に由来する社会損失 6兆円

〔出所：【調査報告】「働く女性の健康増進に関する調査結果」〕

- 女性特有の健康課題による困った経験ありの女性従業員：52%
(月経関連72%、PMS等 43%、更年期障害19%)

〔出所：経済産業省・働く女性の健康推進に関する実態調査2018〕

- コレクティブに取り組む意義の大きいテーマ

- プラチナ研、INCF、MRIでも過去に関連検討を実施。蓄積あり

- プラチナ研：「女性活躍推進」認定を目指す会(17年度～19年度)

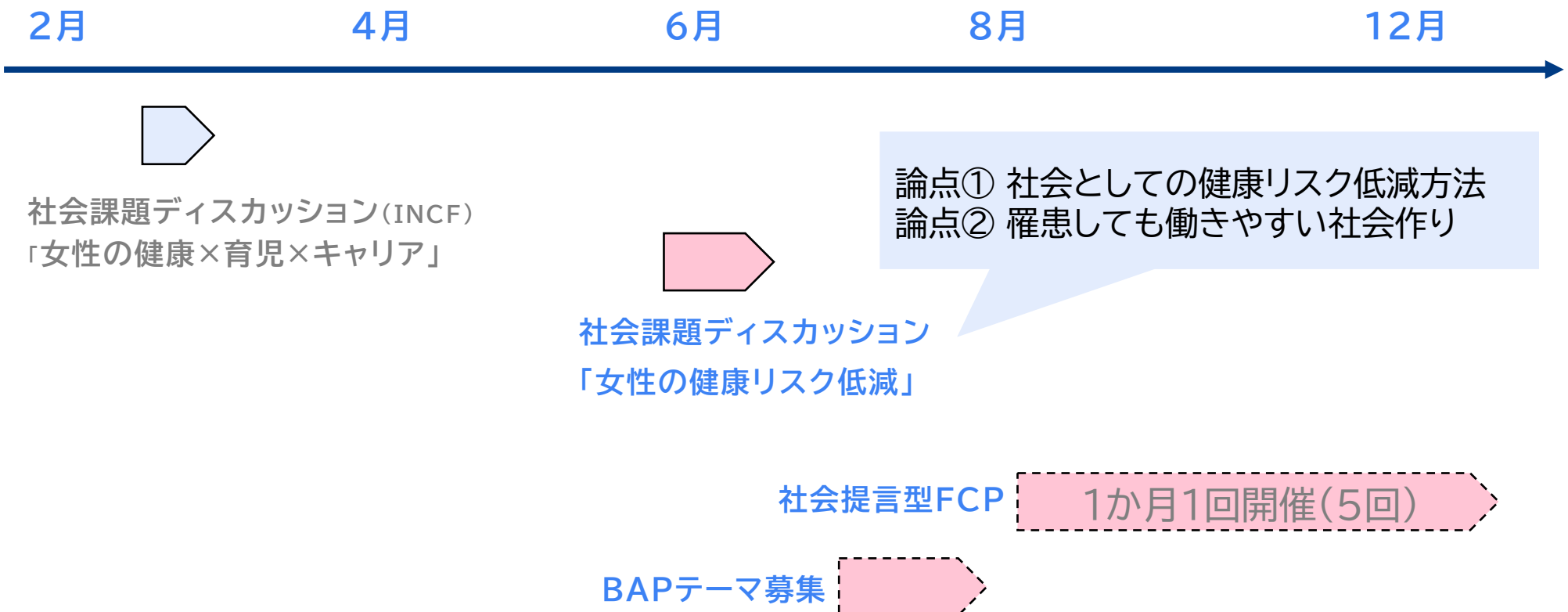
- INCF：ママのためのストレスマネジメントSIG/WG (19年度～)

- MRI事業 「健康エール」

ICF活動への展開(予定を含む)

① 女性の健康・活躍

- 社会課題ディスカッション「女性の健康リスク低減」の実施(6月上旬予定)
- 上記結果を踏まえ、未来共創プロジェクト(社会提言型FCP)立上げを検討予定
- 併せて、BAPでのソリューション募集も検討中(候補の1つ)

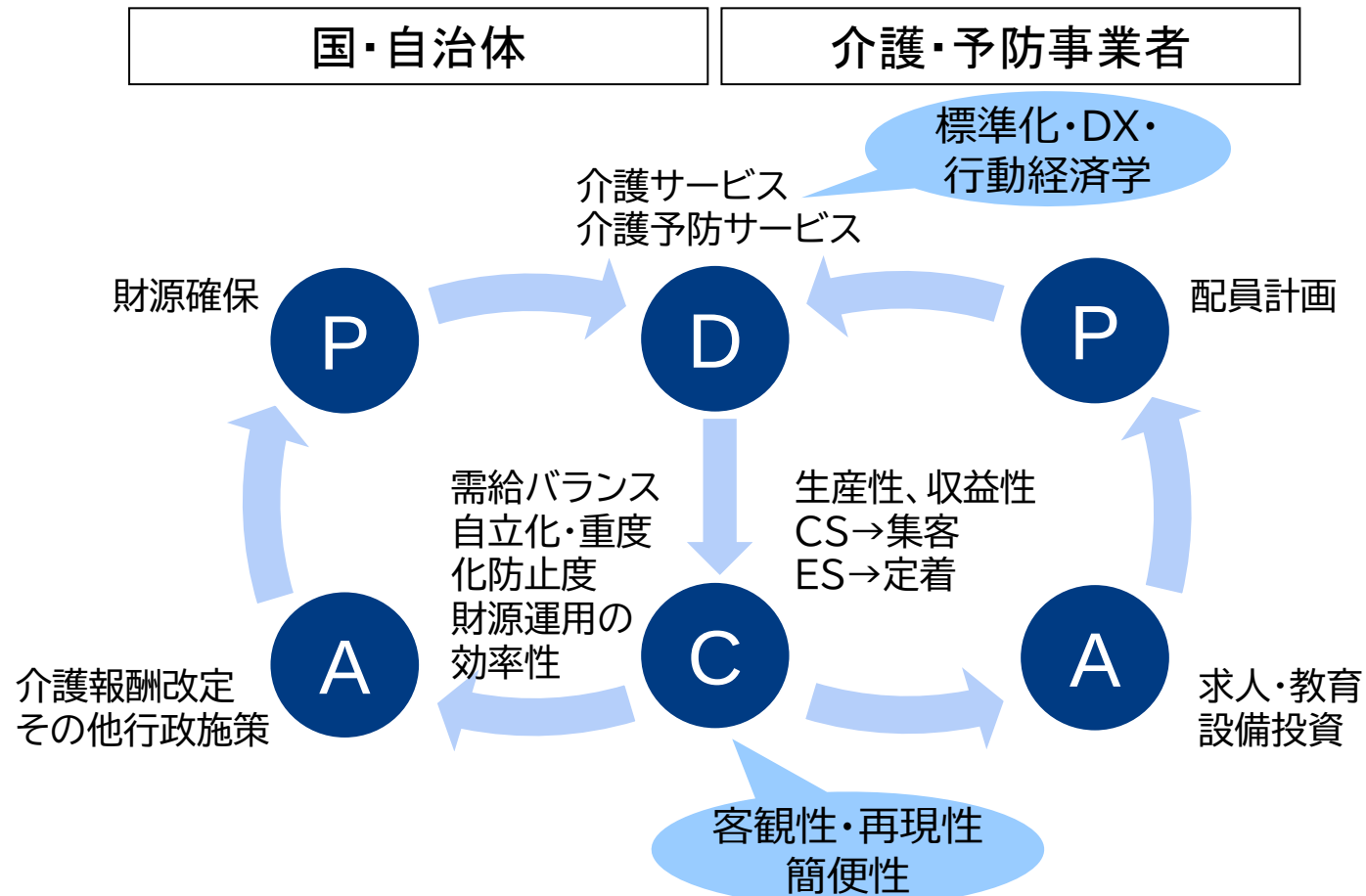


② 科学的介護＋予防



● 必要なのは「科学的介護＋予防」

- 介護・予防の質を担保しながら生産性を高めていくことが重要
- 「標準化」「DX」「行動経済学」「客観性」「再現性」「簡便性」をキーワードに「行政」と「企業」の2つのPDCAのかみ合わせが必要



- 「社会保障費の増大と介護人材不足」は深刻な社会課題

2025年:4年後のこの国の姿

700万人

認知症患者数

15.3兆円

公的介護サービス費用

38万人

不足する介護職員数



- 社会課題ディスカッション「保険外の介護予防」実施(5月下旬予定)

		介護サービス	介護予防サービス
費用負担	国		
	自治体		
	介護事業者	     	5月下旬開催！ 社会課題ディスカッション
	生活者	3月23日(実施済) 社会課題ディスカッション ▼ 「過剰介護」がキーワードに	「保険外の介護予防」

③ 行動変容



● テーマの要点

- 新たなサービス利用者である個人・企業の行動を変える(利用促進)手立て
- 分野・領域を問わず、社会課題解決に共通するテーマ
- 「ビジネスで社会課題解決」を完成・完遂するための最後の打ち手

● 着眼点

- 進まない行動変容…生活習慣病予防、ゴミ対策、最適エネルギー消費 等々
- 制度・政策の変更、新たなサービス開発と併せ、需要側/利用者側も変わる必要
- 「行動経済学」の応用可能性

● ICF活動への展開

- 行動経済学を利用した未来共創プロジェクト(FCP)の立上げ
(6月開始を目途に企画中)

● 問題意識

- ICFのゴールは、社会課題をビジネスとして解決すること
- ソリューションに対して、利用者側に行動を起こしてもらう必要
- **行動変容が起こらず、持続可能なビジネスにならない**ケースが散見



● FCPの方針

- 行動変容を引き起こすのに行動経済学の理論が期待されるところ
- 社会課題解決に有効なナッジとは何かをworkshop形式で検討
- mifを用いて、具体的にどの程度行動変容が起きるか、試算検証
- 検討内容を一般化、「こんな時はこうした方が良さそう」という方針を共有

■ mif (Market Intelligence & Forecast)

- 日本の縮図となる30,000人を対象に価値観やライフスタイル等約2,000問を質問
- 同一サンプルに追加調査を実施することで、追加質問と上記2000問とクロス集計が可能

● 実施内容(案)

#	実施内容（仮）
1	ガイダンス、有識者によるインプット講義
2	解決したい課題の探求
3	ボトルネック検討／分析
4	ナッジ戦略検討
5	ナッジ効果評価
6	全体とりまとめ

フレームワーク
開発型FCP

● 実施体制

- 行動経済学有識者のアドバイザー参画

● その他

- 「解決したい社会課題テーマ」を事前に募集

④ 防災・減災

防災・減災

- 「フェーズフリー」に着目

- 「有事」と「平時」の同時組込み ← ビジネスで解決する鍵

- ① 日常用品への減災機能付与

- ② 防災用品の日常用途開発



防災・減災

●「有事」と「平時」の力をいかに超えられるか？

激甚災害のフェーズ	我々が直面する問題
1. 災害予知・早期警報	・ 第二波や二次災害(建物倒壊、火災、津波)を予測できない
2. 災害発生	・ 自分の命を守ることで精いっぱい(他人を助けられない) ・ パニック、恐怖
3. 被害評価	・ 家族・同僚と連絡がとれない、安否がわからない ・ 情報を収集できない/選別できない
4. 災害対応 (救助・救出・救命)	・ 救助できない、負傷者を手当てできない ・ 避難できない(障害物、暗闇)、移動できない ・ 行動を判断できない ・ 家族をケアできない(職務を優先しなければいけない)
5. 復旧復興	・ 電子機器が使えない(電源がない) ・ 明かりがない、水がない、トイレがない ・ 食糧がない、暖をとれない、不衛生、体力消耗、感染症蔓延 ・ 現金を引き出せない、 ・ プライバシーがない、不安、精神を消耗 ・ ペットを連れて避難できない ・ 家族をケアできない(職務を優先しなければいけない)

⑤ ダイバーシティ & インクルージョン (D&I)



ダイバーシティ & インクルージョン(D&I)

● テーマの要点(課題解決の視点・捉え方)

- 一人ひとりが、自律し、**生き生きと活躍できる社会**(社会全体の受け皿)
- 社会全体(働く側、雇用する側の双方)の**機会損失の低減**
- **“イノベーション”誘発**の可能性(イノベーションを生み出す「環境づくり」)

● 着眼点(検討のきっかけ)

- コロナ禍で急速進展した「働き方」…**不自由さの拡大とジョブ型への転換要請**
- **「コロナ禍を機に、働き方の多様性を障害者雇用の視点から考える」**
(20年度分科会:フジクラ様、アクティベートラボ様)
- 多様な人材の「戦力化」、「戦力活用」の重要性と必要性

● 検討の方向性(解決に向けたヒント)

- **「できること」**の切り出し方、公平な評価と育成策、統合化(チーム形成)
- D&I組織文化の醸成(**fairness、同質性志向の払拭、イノベーション志向**)
- DXを駆使したコミュニケーション・ロスの改善(その可能性追求)
- 企業戦略×地域(region)戦略 ⇒ 企業と自治体のタイアップによるD&I推進

⑥ 人間中心の街づくり

人間中心の街づくり

- テーマの要点(課題解決の視点・捉え方)
 - 世界で展開されるスマートシティ構想への問題提起・・・改めて「人間中心で！」
 - 国内各地域の課題解決視点の盛込み・・・人口減、地域経済、地域資源活用 等
 - 世界に通用する街づくり・・・課題先進国「日本」の街づくりを世界へ
- 着眼点(検討のきっかけ)
 - 世界のスマートシティ構想・・・技術先行型、サプライ先導型、人間が置き去り？
 - 地方創生、地域活性化問題への対応緊急性・・・「“更地”の街づくり」ではない
 - 嘗てのニュータウンからの反省・・・持続性、新陳代謝、自力成長性の埋め込み方
- 検討の方向性(解決に向けたヒント)

最新事例のスタディを踏まえ、

 - 「ヒトを主語にした街づくり」再考・・・住むヒト、訪れるヒト、利用するヒトの目線
 - 一石二鳥(三鳥)の追求・・・空き家対策、老朽インフラ再活用など街の再興
 - 各地域特性の打ち出しと地域間連携・・・利用者の目的・ニーズに応じた使い分け、自由な移動、各地域自治への参画

当面の活動予定

4月	5月	6月
★ICF設立総会(本日) ※BAP、DSI、FCPの企画・立ち上げに向け、ニーズ調査(アンケート他)にご協力ください 【FCP】 ・プラチナキャリアアワード(4/28開催予定)	【セミナー】 ・社会課題リスト 2020 解説セミナー 【DSI】 ・「保険外の介護予防」(科学的介護+予防)	【セミナー】 ・「人間中心の街づくり」 【DSI】 ・「女性健康×プレゼンティーズム」(女性の健康・活躍) ・社会課題レポート① 【FCP】 ・「行動変容」(フレームワーク型) 6～9月(全6回開催予定) ※BAP2021募集開始(6月中旬予定)

DSI:社会課題ディスカッション

FCP:未来共創プロジェクト

※詳細日程等は確定次第、別途お知らせいたします。
またテーマ名称等は変更する場合があります。予めご了承ください。